

## 事業計画の概要

まず令和6年度を振り返りますと、新たに開設したAIチャレンジコースに定員以上の多く応募があり、コースに選抜された子ども達はチャレンジ創造コンテストへの出場やロボットカーの製作など熱心に講座内容を学習し、人気があるコースとしてスタートすることができました。また科学週間行事「輪ゴム動力車大会」を実施したほか、夏休み創意工夫工作教室に延べ836名のクラブ員が参加し、360点の創意工夫作品を完成しました。「夏休み創意工夫工作作品展」も開催し延べ920名のクラブ員や保護者の方が来場され展示作品を熱心に見学していただきました。各種コンテストへの参加も活発に行い、以下の通り優秀な成績となっております。

- ・OM (Odyssey of the Mind) 2024 世界決勝大会はアイオワ州立大学で行われ、見事に**総合1位金メダルとラナトラ・フスカ賞金メダルをダブル受賞**しました。
- ・第12回少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会が愛知県国際展示場で、全国60チームが参加して開催されました。当クラブからは2チームが出場して共に発明協会会長賞、銀メダルを受賞しました。
- ・あいち少年少女創意くふう展2024では、2位特許庁長官賞、4位愛知県知事賞、6位名古屋商工会議所会頭賞、13位日本弁理士会東海会会長賞、クリーン賞、振興賞2名の7名が入賞し、全国展へ6名が進出する素晴らしい活躍を遂げました。
- ・第54回市村アイデア賞で加藤仰基さんの「らくらくレジャーシート」が見事、文部科学大臣賞を受賞したほか朝日小学生新聞賞や、市村アイデア記念賞、市村アイデア奨励賞3点と昨年以上の成績を収める大活躍でした。
- ・初開催の早寝早起き朝ごはんアプリコンテストで、加藤綾乃さんが最優秀賞、文部科学大臣賞を受賞しました。
- ・第83回全日本学生児童発明くふう展では、6位WIPO賞1点、7位発明協会会長賞1点、11位NHK会長賞1点、入選2点と好成績をあげることができました。

創立50周年の年に相応しい素晴らしい成績を得ることができました。

令和7年度の事業につきましては、昨年度よりスタートした、AI画像認識などを学ぶ新講座「AIチャレンジコース」が好評であり、定員拡大や更に高いレベルで先端的な加工技術やプログラミングを学びたいとの声が多く、AIチャレンジ継続クラスを新設いたします。

運営費の主原資はトヨタグループ各社からのご寄付に加え、刈谷市からの補助金および一般財団法人石田退三記念財団や地元企業等からのご寄付となっております。

当財団の設立目的であります「次代を担う児童又は青少年に対し、科学技術に関する興味・関心を喚起すると共に、創造活動を通してアイデアを実現する喜びを体験させることにより、創造性豊かな児童又は青少年の育成に寄与する」ことを推進するため、事業のより一層の充実を図ります。

令和7年4月1日からの公益法人制度改正項目を順守し経営健全化を進めます。

以下、令和7年度の事業計画内容を説明します。

1. **刈谷少年少女発明クラブ事業**（刈谷市以外の希望者も受け入れ）
  - (1) **工作技能育成教室**：（一人当たり年間10講座）1講座3時間  
小学2年生から中学3年生までを学年別クラス編成します。  
能力に適した材料・道具を使いこなせるようなカリキュラムに沿って紙工作、木工工作及び電気電子工作やプログラミングなどを指導します。
  - (2) **入門コース**：（小学1年生対象、一人当たり年間10講座）  
「夢と学びの科学体験館」で紙工作中心の講座を主に行います。
  - (3) **創意工夫工作教室**：（事前決定の土日の午前・午後で開催、何回でも参加可）  
子ども達が創造性を発揮させながら自分のアイデアに基づいた作品を作ります。図面作成・材料選択・製作・完成発表までを指導します。
  - (4) **OM教室**： ※Odyssey of the Mind の略（世界青少年創造性競技大会）  
OM基礎コースとOMコースがあります。本年は5月にアメリカアイオワ州立大学で行われる「2026 OM 世界決勝大会」へ参加します。本年の長期課題は「OM 迷路レース」です。新チームで毎週日曜日に活動訓練をします。また当日課題スポンテニアスについての想定訓練を行います。  
OM基礎コースはOM準備コースとして、小学6年生から中学1年生の希望者を受け入れます。内容は創造力育成訓練と英語による自己紹介練習、プログラミング教育、チームワーク育成等を行います。
  - (5) **チャレンジ創造コンテストコース**：  
発明協会が主催する1チーム2～3名でからくりパフォーマンスを競う大会です。刈谷地区予選大会を実施し、全国大会2チーム出場を目指します。
  - (6) **AI チャレンジコース**  
自動運転ロボットカーの製作過程を通して先端的なAI画像認識などを学びます。講座の中でチャレンジ創造コンテスト出場に向けた育成も行います。  
AI チャレンジ継続者クラスを新設し、前期製作したロボットカーをベースに課題解決型講座の中で、さらに高度なプログラミングなどを学びます。
2. **その他協力事業**  
愛知県経済産業局や刈谷市教育委員会、刈谷市理数大好き推進協議会、愛知県発明協会などからの依頼により出張工作教室を開催します。
3. **指導員研修**  
愛知県や愛知県発明協会が主催するセミナーなどに参加します。
4. **広報活動**
  - 4-1. **刈谷少年少女発明クラブ機関誌の発行**
    - (1) 月1回クラブ員活動紹介の「アイデアニュース」を発行します。
    - (2) 令和6年度の活動内容をまとめた「記録2024」を発刊します。
  - 4-2. **ホームページ**  
事業内容の詳細を記述した事業紹介、クラブ活動状況、募集情報、入賞作品等を掲載し、子ども達やその保護者に必要な新しい情報を提供します。
  - 4-3. **オープンワークショップ**を開催します。

## 5-1. クラブ員数

令和7年度のクラブ員数は、前年60名増の1100名以上を目指します。

男女比率としては、男性約7割・女性約3割となっております。

内訳 ＊市外比率16.9％ ＊小1募集締め2025年3月23日

学年	新規	継続	令和7年度	(市外)	令和6年度
小1	258	—	258	(40)	258
小2	48	206	254	(28)	206
小3	29	144	173	(32)	180
小4	17	143	160	(32)	166
小5	12	105	117	(17)	117
小6	1	84	85	(19)	73
中1	1	35	36	(8)	33
中2	1	23	24	(5)	26
中3	0	21	21	(6)	9
計	367	761	1128	(187)	1068

## 5-2. クラブ員数推移

コロナの影響もあり2年連続で令和6年度まで1068名に減少したクラブ員数も、1128名まで回復する見込みです。内訳を分析すると2年生が大幅増加しておりメディアや新聞で多く取り上げられたことや、応募PR（市民だより等）の効果が出ていると想定します。又学年が上がるにしたがい継続率は低下しており、その理由は他の習い事や塾が忙しくなるなどです。一方、昨年度から新たに小学4年生以上に始めたAIチャレンジコースの応募は、非常に好評であり、専門指導員の採用も行い、プログラミング教育の拡大強化を計画して会員数増加に取り組みます。また、クラブ活動内容のPRとして、プログラミング教育のオープンワークショップの開催を計画します。

